

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 玉川学園

(2) 大学名

玉川大学

(3) 大学の位置

〒194-8610

東京都町田市玉川学園六丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オバラ ヨシアキ) 小原芳明 (平成6年4月)		
学長	(オバラ ヨシアキ) 小原芳明 (平成6年4月)		
学部長	(オノ マサト) 小野正人 (平成27年4月)		
学科主任	(ワタナベ ヒロユキ) 渡邊博之 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
農学部 先端食農学科 学士(農学)	農学関係	4年	70人	年次人 -	280人	

- (注) ・定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学 定員 超過率	備 考
	春季 入学	その他 の学期	春季 入学	その他 の学期	春季 入学	その他 の学期	春季 入学	その他 の学期		
A 入学定員	人 70 (-) [-]	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.01 倍	
志願者数	879 (-) [-]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	854 (-) [-]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	246 (-) [-]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	71 (-) [-]	(-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.01									

- (注)
- ・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・()内には、編入学の状況について **外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・[]内には、留学生の状況について **内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は **小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考	
	春季 入学	その他 の学期	春季 入学	その他 の学期	春季 入学	その他 の学期	春季 入学	その他 の学期		
1 年次	[-] (-) 71	[-] (-) -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[]	[]		
2 年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()		
3 年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4 年次					/		/		[] ()	[] ()
計			[] (-) 71	[] ()					[] ()	[] ()

- (注)
- ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について **内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数 (b)	退学者数 (a)	退学者数 (内訳)			主な退学理由	入学者数 に対する 退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	71人	0人	平成29年度	0人	0人	該当なし	0.0%
平成30年度 入学者							
平成31年度 入学者							
平成32年度 入学者							
合計	71人	0人					0.0%

- (注)
- ・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（〇人）」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例) ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<農学部 先端食農学科>

(1) 授業科目表

※US科目...ユニバーシティ・スタンダード科目

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
玉川教育・FYE科目群	一年次セミナー101	1前	2			2	1					教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更 (29)
	一年次セミナー102	1後	2			2	1					
	玉川の教育	1後	0.3			2	0					
	健康教育	1前	1									兼1
	音楽 I	1前	0.7									兼2
	音楽 II	1後	1									兼2
	全人教育論	2前・後		2								兼1
	二年次セミナー201	2前		2								兼1
	二年次セミナー202	2後		2								兼1
	三年次セミナー301	3前		2								兼1
	三年次セミナー302	3後		2								兼1
	ピアリーダー	2前・後		2								兼1
小計 (12 科目)	—	—	7	12	0	3	1	0	0	0	兼6	—
ユニバーシティ・スタンダード科目群 (全学共通科目)	文化人類学	1・2・3・4前・後		2								兼1
	民俗学入門	1・2・3・4後		2								兼1
	美術史	1・2・3・4前・後		2								兼1
	美術理論	1・2・3・4前		2								兼1
	ことばと文化	1・2・3・4前・後		2								兼1
	比較文化論	1・2・3・4前・後		2								兼1
	日本文学	1・2・3・4前・後		2								兼1
	外国文学	1・2・3・4前・後		2								兼1
	歴史 (世界)	1・2・3・4前・後		2								兼1
	歴史 (日本)	1・2・3・4前・後		2								兼1
	音楽史	1・2・3・4前・後		2								兼1
	音楽理論	1・2・3・4前		2								兼1
	哲学	1・2・3・4前・後		2								兼1
	倫理学	1・2・3・4後		2								兼1
	ロジック	1・2・3・4前・後		2								兼1
	科学史	2・3・4後		2								兼1
	宗教学	2・3・4前・後		2								兼1
	世界の宗教と文化	1・2・3・4後		2								兼1
	人間関係論	2・3・4前		2								兼1
	演劇史	1・2・3・4前・後		2								兼1
	演劇理論	1・2・3・4前・後		2								兼1
	キリスト教学	2・3・4前		2								兼1
	英語学	1・2・3・4前・後		2								兼1
	日本語学	1・2・3・4前・後		2								兼1
	日本学入門	1・2・3・4前		2								兼1
	Japanology	3・4前		2								兼1
	Japanese Pop Culture	3・4後		2								兼1
	Issues in Japanese Studies A	4前		2								兼1
	Issues in Japanese Studies B	4後		2								兼1
	人文科学アカデミックスキルズ (リーディング)	1・2・3・4前・後		1								兼1
	人文科学アカデミックスキルズ (ライティング)	1・2・3・4前・後		1								兼1
	名著講読 (人文科学)	2・3・4前・後		1								兼1
	Modern Japanese History	3・4後		2								兼1
	East Asian History	4前		2								兼1
34 小計 (25 科目)	—	—	0	65	0	0	0	0	0	0	兼27	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手		
ユニバーシティ・スタンダード科目群（全学共通科目）	会計学	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	コミュニケーション論	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	Academic Communication	2・3・4後		2								兼1	US科目(全学共通科目)がキレム改編により科目追加(29)
	経済学(国際経済を含む)	1・2・3・4前		2								兼1	
	国際関係論	2・3・4前・後		2								兼1	
	情報管理論	2・3・4前		2								兼1	
	法学	1・2・3・4後		2								兼1	
	市民社会と法	1・2・3・4後		2								兼1	US科目(全学共通科目)がキレム改編により科目追加(29)
	経営学	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	マーケティング	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	政治学	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	心理学	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	社会学	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	ボランティア概論	1・2・3・4後		2								兼1	
	科学技術社会論	2・3・4後		2								兼1	
	観光学入門	1・2・3・4前		2								兼1	
	社会科学アカデミックスキルズ(リーディング)	1・2・3・4前・後		1								兼1	
	社会科学アカデミックスキルズ(ライティング)	1・2・3・4前・後		1								兼1	
	名著講読(社会科学)	2・3・4前・後		1								兼1	
	19 小計(17科目)		—	0	35	0	0	0	0	0	0	兼17 兼15	—
	情報科学入門	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	ネットワーク入門	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	データ処理	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	マルチメディア表現	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	化学入門	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	生物学入門	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	環境科学	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	数学入門	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	解析学入門	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	代数学入門	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	統計学入門	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	物理学入門	1・2・3・4前・後		2								兼1	
	実践の物理学	2・3・4前		2								兼1	US科目(全学共通科目)がキレム改編に伴い科目名及び配当年次変更(29)
	物理学実践	2・3・4前・後											
	科学入門	1・2・3・4前・後		2								兼5	
地球科学	2・3・4前・後		2								兼1		
エネルギー科学	2・3・4前		2								兼1		
宇宙科学	2・3・4前・後		2								兼1		
STEM入門(科学と社会)	1・2・3・4後		2								兼1	US科目(全学共通科目)がキレム改編により科目追加(29)	
人工知能と社会	2・3・4後		2								兼1		
自然科学アカデミックスキルズ(リーディング)	1・2・3・4前・後		1								兼1		
自然科学アカデミックスキルズ(ライティング)	1・2・3・4前・後		1								兼1		
名著講読(自然科学)	2・3・4前・後		1								兼1		
22 小計(20科目)		—	0	41	0	0	0	0	0	0	兼20 兼17	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置						備考	
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
ユニバーシティ・スタンダード科目群 (全学共通科目)	ミクロ脳科学	1・2・3・4前・後		2									兼1	
	マクロ脳科学	1・2・3・4前・後		2									兼1	
	健康スポーツ理論	1・2・3・4前・後		2									兼1	
	生涯スポーツ演習	1・2・3・4前・後		2									兼1	
	環境教育	1・2・3・4前・後		2									兼1	
	スポーツ史	2・3・4後		2									兼1	
	オリンピック文化論	1・2・3・4前・後		2									兼1	
	栄養学	3・4前		2									兼1	
	病理学	3・4前		2									兼1	
	マスメディアと社会	1・2・3・4前・後		2									兼1	
	現代文化論	2・3・4前		2									兼1	
	プレゼンテーションスキル	1・2・3・4後		2									兼1	
	Presentation Skills in English	2・3・4後		2									兼1	
	Japanese Studies Overseas A	3後・4前・後		2									兼1	US科目(全学共通科目)がキレム改編により科目追加(29)
	Japanese Studies Overseas B	3後・4前・後		2									兼1	
	Japanese Studies Overseas C	3後・4前・後		2									兼1	
	複合領域研究 201~299	2・3・4前・後		2									兼3	
	野外教育	2・3・4前・後 2・3・4後		2									兼1	US科目(全学共通科目)がキレム改編に伴い配当年次変更(29)
	TAPファシリテーション I	1・2・3・4前・後		2									兼1	US科目(全学共通科目)がキレム改編により科目追加(29)
	TAPファシリテーション II	1・2・3・4後		2									兼1	
	環境教育ワークショップ I	1・2・3・4後		2									兼1	
	環境教育ワークショップ II	2・3・4前		2									兼1	
	コーオプ・プログラム	2・3・4前・後		2									兼1	
	インターンシップA	1・2・3・4前・後		2									兼1	
	インターンシップB	1・2・3・4前・後		2									兼1	
	インターンシップC	1・2・3・4前・後		1									兼1	
	インターンシップD	1・2・3・4前・後		1									兼1	US科目(全学共通科目)がキレム改編により科目追加(29)
	教育インターンシップA	1・2・3・4前・後		2									兼1	
	教育インターンシップB	1・2・3・4前・後		2									兼1	
	教育インターンシップC	1・2・3・4前・後		1									兼1	
	教育インターンシップD	1・2・3・4前・後		1									兼1	
	キャリア・マネジメント	3・4前・後		2									兼1	
	国際研究A	1後・2・3・4前・後		2									兼1	
	国際研究B	1後・2・3・4前・後		2									兼1	
	国際研究C	1後・2・3・4前・後		2									兼1	
	国際研究D	1後・2・3・4前・後		3									兼1	
	国際研究E	1後・2・3・4前・後		4									兼1	
	国際研究F	1後・2・3・4前・後		5									兼1	
	フィールドワークA	1・2・3・4前・後		2									兼1	
	フィールドワークB	1・2・3・4前・後		2									兼1	
	フィールドワークC	1・2・3・4前・後		2									兼1	
	地域創生プロジェクトA	1・2・3・4前・後		1									兼1	
	地域創生プロジェクトB	1・2・3・4前・後		1									兼1	
	地域創生プロジェクトC	1・2・3・4前・後		2									兼1	US科目(全学共通科目)がキレム改編により科目追加(29)
	地域創生プロジェクトD	1・2・3・4前・後		2									兼1	
	地域創生プロジェクトE	1・2・3・4前・後		3									兼1	
	地域創生プロジェクトF	1・2・3・4前・後		3									兼1	
47 小計 (26 科目)		—	0	96 58	0	0	0	0	0	0	0	0	兼25 兼20	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手		
ユニバーシティ・スタンダード科目群 (全学共通科目)	ELF 101	1・2前・後		4								兼2	
	ELF 102	1・2前・後		4								兼2	
	ELF 201	1・2前・後		4								兼2	
	ELF 202	1後・2前・後		4								兼2	
	ELF 301	2・3・4前・後		4								兼2	
	ELF 302	2後・3・4前・後 2・3・4前・後		4								兼2 US科目(全学共通科目)がキレム 改編に伴い配当年次変更(29)	
	ELF 401	3・4前・後		4								兼1	
	ELF 402	3後・4前・後 3・4前・後		4								兼1 US科目(全学共通科目)がキレム 改編に伴い配当年次変更(29)	
	日本語表現 101	1・2・3・4前		2								兼1	
	日本語表現 102	1・2・3・4後		2								兼1	
	フランス語 101	1・2・3・4前		2								兼1	
	フランス語 102	1・2・3・4後		2								兼1	
	ドイツ語 101	1・2・3・4前		2								兼1	
	ドイツ語 102	1・2・3・4後		2								兼1	
	スペイン語 101	1・2・3・4前		2								兼1	
	スペイン語 102	1・2・3・4後		2								兼1	
	中国語 101	1・2・3・4前		2								兼1	
	中国語 102	1・2・3・4後		2								兼1	
	小計 (18 科目)	—	0	52	0	0	0	0	0	0	0	兼8 兼9	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手		
ユニバーシティ・スタンダード科目群 (全学共通科目) 資格関連科目群	学校経営と学校図書館	3・4前		2								兼1	
	学校図書館メディアの構成	2・3・4前		2								兼1	
	学習指導と学校図書館	3・4前		2								兼1	
	読書と豊かな人間性	2・3・4後		2								兼1	
	情報メディアの活用	2・3・4前・後		2								兼1	
	生涯学習概論	2・3・4前		2								兼1	
	図書館概論	2・3後 2・3前		2								兼1	US科目(全学共通科目)がキレム 改編に伴い配当年次変更(29)
	図書館情報技術論	3・4後		2								兼1	
	図書館制度・経営論	3・4前		2								兼1	
	図書館サービス概論	2・3前 2・3後		2								兼1	US科目(全学共通科目)がキレム 改編に伴い配当年次変更(29)
	情報サービス論	2・3・4後		2								兼1	
	児童サービス論	3・4前 3・4後		2								兼1	US科目(全学共通科目)がキレム 改編に伴い配当年次変更(29)
	情報サービス演習A	3・4前		1								兼1	
	情報サービス演習B	3・4前		1								兼1	
	図書館情報資源概論	2・3後		2								兼1	
	情報資源組織論	2・3前		2								兼1	
	情報資源組織演習A	2・3・4後		1								兼1	
	情報資源組織演習B	2・3・4後		1								兼1	
	図書館情報資源特論	3・4前		1								兼1	
	図書・図書館史	2・3・4前		1								兼1	
	図書館施設論	3・4後		1								兼1	
	社会教育の基礎	2・3後		2								兼1	
	社会教育計画	2・3前		2								兼1	
	社会教育方法論	2・3後		2								兼1	
	社会教育実習	2後		2								兼1	
	社会教育課題研究	3前		2								兼1	
	現代社会と社会教育	2・3後		2								兼1	
	社会体育論	2・3前		2								兼1	
	博物館概論	2前		2								兼1	
	博物館経営論	2後		2								兼1	
	博物館資料論	2後		2								兼1	
	博物館資料保存論	2前		2								兼1	
	博物館展示論	2前		2								兼1	
	博物館教育論	2後		2								兼1	
	博物館情報・メディア論	2後		2								兼1	
	博物館実習	3前・後		3								兼1	
小計(36科目)		—	0	66	0	0	0	0	0	0	0	兼18	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
100 番台科目	環境生物科学	1前		2		1						
	基礎化学実験	1前	2				1				兼1	2ク
	農場実習	1前	1			3					兼6	
	化学	1後	2			0 +	1					教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者削除(29)
	生物学	1後	2			1						
	有機化学Ⅰ 基礎有機化学	1後	2								兼1	教育課程の充実を図るため科目名称変更(29)
	分析化学	1後		2		1						
	基礎生物学実験	1後	2			3 +					兼3 兼7	教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者の変更及び削除(29)
小計(8科目)	—	11	4	0	4 5	1	0	0	0	兼11 兼14	—	
200 番台科目	生物化学Ⅰ	2前	2			1						
	微生物学	2前	2			1						
	園芸学	2前	2			1						
	海洋生態学	2前	2								兼1	
	有機化学Ⅱ 有機化学	2前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目名称変更(29)
	食品製造科学	2前	2			1						
	食品加工実習Ⅰ	2前		2		1	1					
	生物化学Ⅱ	2後	2				1					
	植物栄養学	2後	2			1						
	食品機能化学	2後	2			1						
	生物統計学	2後		2		1						
	水産学	2後		2		1						
	養殖学	2後		2		1						
	先端食農実験Ⅰ	2後	2			3						
小計(14科目)	—	16	12	0	8	1	0	0	0	兼2	—	
300 番台科目	生物化学Ⅲ	3前	2			1						
	食品衛生学	3前	2			1						
	栄養生理化学	3前		2		1						
	養蜂学	3前		2		1						
	先端食農実験Ⅱ	3前	2			3						
	専門領域研究	3前		2		8	1					
	食品加工実習Ⅱ	3前		2		2	1					
	先端食農演習Ⅰ	3後	2			7	1					
	応用栄養学	3後		2			1					
	畜産物利用学	3後		2		1						
	植物生理学	3後		2		2						
	農薬化学	3後		2		1					兼1	
	公衆衛生学	3後		2							兼1	
	インターンシップ	3後		2			1					
	フィールド実習	3後		2		1					兼4	
植物工場実習	3後		2		1							
陸上養殖実習	3後		2		1							
小計(17科目)	—	8	26	0	8	1	0	0	0	兼6	—	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門 科目 群	400 番台 科目	先端食農演習ⅡA	4前	2		8	1						
		卒業研究Ⅰ	4前	4		8	1						
		先端食農演習ⅡB	4後	2		8	1						
		卒業研究Ⅱ	4後	4		8	1						
		卒業研究論文	4後	2		8	1						
		小計（5科目）	—	14	0	0	8	1	0	0	0	0	—
		232 合計（ 198 科目）	—	56	409 345	0	8	1	0	0	0	兼126 兼11	—

- (注) ・認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成28年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
29	169	0	198	29	203	0	232	
				[±0]	[±34]	[±0]	[±34]	

(注) ・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし (29)					

(注) ・設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし (29)					

(注) ・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし (29)

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{198} = \boxed{0.00}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 ・「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	<共有する他の学校の名称・取 容定員・校地面積基準> 玉川学園高等部 795人 13,020㎡ 玉川学園中学部 795人 10,696㎡ 玉川学園小学部1,200人 9,567㎡ 玉川学園幼稚部 190人 1,000㎡		
	校舎敷地	0.00 ㎡	345,867.43 ㎡	0.00 ㎡	345,867.43 ㎡			
	運動場用地	0.00 ㎡	58,264.56 ㎡	0.00 ㎡	58,264.56 ㎡			
	小 計	0.00 ㎡	404,131.99 ㎡	0.00 ㎡	404,131.99 ㎡			
	そ の 他	0.00 ㎡	205,039.58 ㎡	0.00 ㎡	205,039.58 ㎡			
	合 計	0.00 ㎡	609,171.57 ㎡	0.00 ㎡	609,171.57 ㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 解体及び用途変更のため。 機能は既存校舎に移転さ れており、修学環境に及ぼ す影響は全くない。(29)		
		128,478.19 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	128,478.19 ㎡			
		(123,580.50 ㎡) (-128,478.19 ㎡)	(0.00 ㎡)	(0.00 ㎡)	(-128,478.19 ㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 解体及び用途変更のため。 機能は既存校舎に移転さ れており、修学環境に及ぼ す影響は全くない。(29)		
	107 室 129 室	69 室 72 室	224 室 225 室	5 室 (補助職員 2 人)	7 室 (補助職員 2 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		6室のうち、1人部屋が1室、 領域・研究分野ごとの4人部 屋が5室。1人あたりのス ペースは充分にある。		
	農学部 先端食農学科			6 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体 教育の充実のため、図書等 を購入。 電子ジャーナルの算出方法を 文部科学省による「学術情 報基盤実態調査」に合わせ たため数値は減少となって いるが、学生への影響は全 くない。(29)
	農学部 先端食農学科	961,999 [304,437] (937,725 [300,880]) (937,774[300,891])	8,875 [2,176] (8,696 [2,184]) (8,695[2,164])	39,008 [38,950] (11,048 [10,481]) (39,008[38,950])	32,121 (31,959) (32,121)	8,791 (9,463) (8,791)	7 (7)	
	計	961,999 [304,437] (937,725 [300,880]) (937,774[300,891])	8,875 [2,176] (8,696 [2,184]) (8,695[2,164])	39,008 [38,950] (11,048 [10,481]) (39,008[38,950])	32,121 (31,959) (32,121)	8,791 (9,463) (8,791)	7 (7)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	9,022.42 ㎡	1,040 席		1,301,220 冊				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	4,226.96 ㎡	名 称	所 在 地	設置年月	規 模			
		屋内プール	東京都町田市 玉川学園 六丁目 1番1号	昭和47年8月	2,766.30 ㎡			
		弓道場		昭和41年9月	1,314.00 ㎡			
洋弓場		昭和59年3月		2,053.00 ㎡				
ゴルフ場	昭和38年7月	4,862.00 ㎡						

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分		開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書及び設備購入については、大学全体の予算内での調整のため当該学科の予算が増加した。 (29)
		教員 1 人当り研究費等		400 千円	400 千円	図書購入費	2,508 千円 1,605 千円	2,287 千円 1,700 千円	1,700 千円	
		共同研究費等		2,000 千円	2,000 千円	設備購入費	8,488 千円 7,493 千円	32,661 千円 29,000 千円	7,500 千円	
学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次				
	1810.2 千円	1570.2 千円	1580.2 千円	1590.2 千円	— 千円	— 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等								

- (注) ・設置時の計画を、申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は AC 対象学部等の数値を記入してください。)
- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
 - ・「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成 29 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・校舎等建物の計画の変更 (校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延) がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	玉川大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
文学部									
国語教育学科	4	60	—	60	学士(文学)	1.20	平成29年度		
英語教育学科	4	80	—	240	学士(文学)	1.03	平成27年度		
人間学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成14年度		文学部人間学科は平成29年4月より学生募集停止
比較文化学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成18年度		文学部比較文化学科は平成27年4月より学生募集停止
農学部									
生産農学科	4	165	—	165	学士(農学)	1.00	平成29年度		
環境農学科	4	70	—	70	学士(農学)	0.72	平成29年度		
先端食農学科	4	70	—	70	学士(農学)	1.01	平成29年度		
生物資源学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	昭和24年度		農学部生物資源学科は平成27年4月より入学定員変更
生物環境システム学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	平成17年度	東京都町田市玉川学園六丁目1番1号	90→105 農学部生物環境システム学科は平成27年4月より入学定員変更 60→70
生命化学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	平成17年度		農学部生命化学科は平成27年4月より入学定員変更 100→110
工学部									
情報通信工学科	4	60	—	60	学士(農学)	1.05	平成29年度		
ソフトウェアサイエンス学科	4	60	—	250	学士(工学)	1.37	平成20年度		工学部ソフトウェアサイエンス学科は平成27年4月より入学定員変更 70→60
マネジメントサイエンス学科	4	60	—	250	学士(工学)	1.49	平成16年度		工学部マネジメントサイエンス学科は平成27年4月より入学定員変更 70→60
エンジニアリングデザイン学科	4	60	—	180	学士(工学)	0.85	平成27年度		
機械情報システム学科	4	—	—	220	学士(工学)	—	平成20年度		工学部機械情報システム学科は平成27年4月より入学定員変更 100→60

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
経営学部 国際経営学科	4	130	—	520	学士(経営学)	1.30	平成13年度		
教育学部 教育学科	4	240	—	960	学士(教育学)	1.20	平成14年度		
乳幼児発達学科	4	75	—	275	学士(教育学)	1.17	平成15年度		教育学部乳幼児発達学科は平成27年4月より入学定員変更 50→75
芸術学部 パフォーマンス・アーツ学科	4	130	—	520	学士(芸術学)	1.07	平成14年度		芸術学部パフォーマンス・アーツ学科は平成26年4月より入学定員変更 120→130
メディア・デザイン学科	4	90	—	360	学士(芸術学)	1.12	平成26年度	東京都町田市玉川学園六丁目1番1号	
芸術教育学科	4	50	—	200	学士(芸術学)	1.10	平成26年度		
音楽コース	4	30	—	120	学士(芸術学)	1.28			
美術・工芸コース	4	20	—	80	学士(芸術学)	0.82			
メディア・アーツ学科	4	—	—	—	学士(芸術学)	—	平成18年度		芸術学部メディア・アーツ学科は平成26年4月より学生募集停止
ビジュアル・アーツ学科	4	—	—	—	学士(芸術学)	—	平成14年度		芸術学部ビジュアル・アーツ学科は平成26年4月より学生募集停止
リハビリアーツ学部 リハビリアーツ学科	4	160	—	640	学士(リハビリアーツ)	1.14	平成19年度		
観光学部 観光学科	4	90	—	360	学士(観光学)	1.26	平成25年度		
教育学部 教育学科通信教育課程	4	1,500	—	6,000	学士(教育学)	0.04	平成14年度		

大学の名称	玉川大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
文学研究科									
人間学専攻 (修士課程)	2	5	—	10	修士(文学)	0.10	平成22年度		
英語教育専攻 (修士課程)	2	7	—	14	修士(文学)	0.63	平成22年度		
農学研究科									
資源生物学専攻 (修士課程)	2	12	—	24	修士(農学)	0.87	昭和52年度		
資源生物学専攻 (博士課程後期)	3	4	—	12	博士(農学)	0.25	昭和54年度		
工学研究科									
機械工学専攻 (修士課程)	2	16	—	32	修士(工学)	0.09	昭和42年度		
電子情報工学専攻 (修士課程)	2	16	—	32	修士(工学)	0.18	昭和42年度	東京都町田市玉川学園 六丁目1番1号	
システム科学専攻 (博士課程後期)	3	3	—	9	博士(工学)	0.11	平成19年度		
マネジメント研究科									
マネジメント専攻 (修士課程)	2	7	—	14	修士(マネジメント)	0.35	平成17年度		
教育学研究科									
教育学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士(教育学)	1.40	平成18年度		
教職専攻 (専門職学位課程)	2	20	—	40	教職修士(専門職)	1.07	平成20年度		
脳科学研究科									
心の科学専攻 (修士課程)	2	5	—	10	修士(工学) 修士(学術)	0.60	平成26年度		
脳科学専攻 (博士課程後期)	3	3	—	9	博士(工学) 博士(学術)	0.25	平成26年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（ＡＣ対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成２９年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・ＡＣ対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで（小数点以下第３位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

< 農学部 先端食農学科 >

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	オハシ ケイ 大橋 敬子 (兼子 敬子)	平成29年4月	環境生物科学 農場実習 植物栄養学 先端食農実験Ⅱ 専門領域研究※ 先端食農演習Ⅰ 植物工場実習 先端食農演習ⅡA 卒業研究Ⅰ 先端食農演習ⅡB 卒業研究Ⅱ 卒業研究論文					基礎生物学実験	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更(29)
専	教授	シノモト ヒロシ 新本 洋士	平成29年4月	一年次セミナー101 一年次セミナー102 食品加工実習Ⅰ 食品機能化学 栄養生理化学 専門領域研究※ 食品加工実習Ⅱ 先端食農演習Ⅰ 先端食農演習ⅡA 卒業研究Ⅰ 先端食農演習ⅡB 卒業研究Ⅱ 卒業研究論文	専	教授	ヨシムラ ヨシタカ 吉村 義隆	平成29年4月	一年次セミナー101 [全学共通科目] 一年次セミナー102 [全学共通科目]	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
専	教授	カブチ トシト 田淵 俊人	平成29年4月	農場実習 園芸学 先端食農実験Ⅱ 専門領域研究※ 先端食農演習Ⅰ 植物生理学※ 先端食農演習ⅡA 卒業研究Ⅰ 先端食農演習ⅡB 卒業研究Ⅱ 卒業研究論文					一年次セミナー101 〔全学共通科目〕 一年次セミナー102 〔全学共通科目〕 玉川の教育 〔全学共通科目〕 基礎生物学実験	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラス を改編したことに伴う担当者 変更(29) 平成29年4月 教育体制の充実を図りクラス を改編したことに伴う担当者 変更(29)
専	教授	トミタ シンイチ 富田 信一	平成29年4月	一年次セミナー101 一年次セミナー102 食品製造科学 先端食農実験Ⅰ 食品衛生学 専門領域研究※ 食品加工実習Ⅱ 先端食農演習Ⅰ 畜産物利用学 先端食農演習ⅡA 卒業研究Ⅰ 先端食農演習ⅡB 卒業研究Ⅱ 卒業研究論文	専	教授	カブチ トシト 田淵 俊人	平成29年4月	一年次セミナー101 〔全学共通科目〕 一年次セミナー102 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラス を改編したことに伴う担当者 変更(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
専	教授	カムラ ジェン 中村 純	平成29年4月	農場実習 生物学 基礎生物学実験 生物統計学 養蜂学 先端食農実験Ⅱ 専門領域研究※ 先端食農演習Ⅰ 先端食農演習ⅡA 卒業研究Ⅰ 先端食農演習ⅡB 卒業研究Ⅱ 卒業研究論文					玉川の教育 〔金学共通科目〕	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラス を改編したことに伴う担当者 変更(29)
専	教授	マスタ アツリ 増田 篤稔	平成29年4月	化学 水産学 養殖学 専門領域研究※ 陸上養殖実習 先端食農演習ⅡA 卒業研究Ⅰ 先端食農演習ⅡB 卒業研究Ⅱ 卒業研究論文					化学	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラス を改編したことに伴う担当者 削除(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	ヨシムラ ヨシタカ 吉村 義隆	平成29年4月	玉川の教育 分析化学 微生物学 先端食農実験Ⅰ 専門領域研究※ 先端食農演習Ⅰ 先端食農演習ⅡA 卒業研究Ⅰ 先端食農演習ⅡB 卒業研究Ⅱ 卒業研究論文	専	教授	カブチ トシヒト 田淵 俊人	平成29年4月	一年次セミナー101 〔全学共通科目〕 一年次セミナー102 〔全学共通科目〕 玉川の教育 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更(29) 平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更(29)
専	教授	ワタナベ ヒロユキ 渡邊 博之	平成29年4月	一年次セミナー101 一年次セミナー102 生物化学Ⅰ 先端食農実験Ⅰ 生物化学Ⅲ 専門領域研究※ 先端食農演習Ⅰ 植物生理学※ 農薬化学※ フィールド実習 先端食農演習ⅡA 卒業研究Ⅰ 先端食農演習ⅡB 卒業研究Ⅱ 卒業研究論文	専	准教授	ナガノ ヤスノリ 長縄 康範	平成29年4月	一年次セミナー101 〔全学共通科目〕 一年次セミナー102 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	カガナ ヤスリ 長縄 康範	平成29年4月	玉川の教育 基礎化学実験 化学 食品加工実習Ⅰ 生物化学Ⅱ 専門領域研究※ 食品加工実習Ⅱ 先端食農演習Ⅰ 応用栄養学 インターンシップ 先端食農演習ⅡA 卒業研究Ⅰ 先端食農演習ⅡB 卒業研究Ⅱ 卒業研究論文	専	教授	ナカムラ ジュン 中村 純	平成29年4月	一年次セミナー101 〔全学共通科目〕 一年次セミナー102 〔全学共通科目〕 玉川の教育 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更(29) 平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者変更(29)
兼担	教授	アキアツオ 青木 敦男	平成29年4月	ことばと文化						
兼担	教授	アサダ シンイチ 浅田 真一	平成31年4月	フィールド実習						
兼担	教授	アミノコウイチ 網野 公一	平成29年4月	比較文化論	兼任	講師	タナベ 田邊 まどか	平成29年4月	比較文化論 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育内容の充実を図るため担当者変更(29)
兼担	教授	イソムラ ヨシカズ 磯村 宜和	平成29年4月	マイクロ脳科学						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	オキエイチ 大木 栄一	平成31年4月	キャリア・マネジメント	兼担	教授	オキエイチ 大木 栄一	平成29年4月	インターンシップA [全学共通科目] インターンシップB [全学共通科目] インターンシップC [全学共通科目] インターンシップD [全学共通科目]	平成29年4月 US科目(全学共通科目)がキ 7M改編により科目追加(29)
兼担	教授	オホホ ヒデトシ 大久保 英敏	平成30年4月	エネルギー科学						
兼担	教授	オガラヤスキ 小倉 康之	平成30年4月	複合領域研究 201～299						
兼担	教授	オサノケイ 小佐野 圭	平成29年4月	音楽Ⅰ 音楽Ⅱ						
兼担	教授	カキザキヒロカ 柿崎 博孝	平成30年4月	博物館経営論						
兼担	教授	カサキトシキ 川崎 登志喜	平成30年4月	社会体育論						
兼担	教授	カサキシゲヒロ 川森 重弘	平成29年4月	科学入門※						
兼担	教授	クロダ キヨシ 黒田 潔	平成29年4月	物理学入門 物理学実践 科学入門※					物理学実践 実践の物理学 [全学共通科目]	平成29年4月 US科目(全学共通科目)がキ 7M改編に伴い科目名変更 (29)
兼担	教授	コタハ シンイチ 小田部 進一	平成30年4月	キリスト教学	兼担	教授	コタハ シンイチ 小田部 進一	平成29年4月	世界の宗教と文化 [全学共通科目]	平成29年4月 US科目(全学共通科目)がキ 7M改編により科目追加(29)
兼担	教授	コハヤシユキオ 小林 幸夫	平成29年4月	政治学						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
兼担	教授	コハラ ヒロユキ 小原 廣幸	平成29年4月	農場実習						
兼担	教授	コトウリ ヨウコ 近藤 洋子	平成31年4月	公衆衛生学						
兼担	教授	サクマ ヒロユキ 佐久間 裕之	平成30年4月	全人教育論						
兼担	教授	スズキヤスユキ 鈴木 康之	平成30年4月	コーオプ・プログラム						
兼担	教授	セキガリ セイウ 関川 清広	平成29年4月	農場実習						
兼担	教授	ソヤマ タケシ 曾山 毅	平成29年4月	観光学入門						
兼担	教授	タカス ハジメ 高須 一	平成29年4月	音楽理論	兼担	教授	ノト ユキオ 野本 由紀夫	平成29年4月	音楽理論 〔全学共通科目〕	平成29年4月 高須一兼担教授の退職(平成 28年5月急逝のため)に伴い 変更(29)
兼担	教授	トミカガ ジュンイチ 富永 順一	平成29年4月	自然科学7科目 ミックスキルズ (リテイング) 自然科学7科目 ミックスキルズ (ライティング) 情報メディアの活用						
兼担	教授	カニシゲル 中西 茂	平成29年4月	マスメディアと社会						
兼担	教授	カムラ カチ 中村 香	平成29年4月	ボランティア概論 生涯学習概論 社会教育実習 社会教育課題研究						
兼担	教授	ナカヤマ ツヨシ 中山 剛史	平成29年4月	哲学						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	ニノノヒロエ 庭野 裕恵 (庭野 裕恵)	平成31年4月	病理学						
兼担	教授	ネギミアキ 根上 明	平成29年4月	ピアリーダー 環境教育ワークショップ I 環境教育ワークショップ II						
兼担	教授	ノモトユキオ 野本 由紀夫	平成29年4月	音楽史					音楽理論 〔全学共通科目〕	平成29年4月 高須一兼担教授の退職(平成28年5月急逝のため)に伴い変更(29)
兼担	教授	ハシモトジュンイチ 橋本 順一	平成29年4月	情報管理論						
兼担	教授	ハシノタクキ 林 卓行	平成29年4月	美術理論 現代文化論	兼任	講師	ハシノタクキ 林 卓行	平成29年4月		平成29年4月 林卓行兼担教授の退職(平成29年3月自己都合のため)に伴い変更(29)
					兼担	准教授	アリゲンタ 有源 傑ラード	平成29年4月	現代文化論 〔全学共通科目〕	平成29年4月 林卓行兼担教授の退職(平成29年3月自己都合のため)に伴い変更(29)
兼担	教授	ホシノヒロシ 堀 浩	平成30年4月	有機化学					有機化学 有機化学 II	平成29年4月 教育課程の充実を図るため科目名称変更(29)
兼担	教授	マツダテツヤ 松田 哲也	平成29年4月	マクロ脳科学						
兼担	教授	マツモトヒロフミ 松本 博文	平成29年4月	国際研究A 国際研究B 国際研究C 国際研究D 国際研究E 国際研究F						
兼担	教授	ミノソウエ 水野 宗衛	平成31年4月	フィールド実習						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
兼担	教授	ミミ ヨシノ 南 佳典	平成29年4月	農場実習						
兼担	教授	ヤギハシ ノブヒロ 八木橋 伸浩	平成29年4月	歴史（日本） 博物館資料論						
兼担	教授	ヤマグチ シュウジ 山口 修二	平成30年4月	科学技術社会論						
兼担	教授	ヤマザキ シンジュン 山崎 旬	平成29年4月	農場実習						
兼担	教授	ヨシカワ トモコ 吉川 朋子	平成30年4月	海洋生態学						
兼担	教授	ワタナベ キョウコ 渡辺 京子 (三田 京子)	平成29年4月	基礎生物学実験 農薬化学※	専	教授	タフチ トシト 田淵 俊人	平成29年4月	基礎生物学実験	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラス を改編したことに伴う担当者 変更(29)
兼担	教授	ワタナベ マサヒコ 渡邊 正彦	平成29年4月	日本文学 日本語表現 102	兼任	講師	コノ サキ 神野 紗希	平成29年4月	日本語表現 102 [全学共通科目]	平成29年4月 教育内容の充実を図るため担 当者変更(29)
兼担	准教授	イシザキ タケキ 石崎 孝之	平成29年4月	基礎生物学実験					基礎生物学実験	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラス を改編したことに伴う担当者 削除(29)
兼担	准教授	イカリナカ 市川 直子	平成29年4月	科学入門※						
兼担	准教授	イトウ リョウジ 伊藤 良二	平成29年4月	会計学						
兼担	准教授	ウノケイ 宇野 慶	平成30年4月	博物館情報・メディア論						
兼担	准教授	オオツカ 大塚 みゆき	平成29年4月	基礎有機化学					基礎有機化学 有機化学 I	平成29年4月 教育課程の充実を図るため科 目名称変更(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	准教授	カツオ アキヒト 勝尾 彰仁	平成29年4月	名著講読(自然科学) 基礎生物学実験						
兼担	准教授	カモトカズタカ 川本 和孝	平成30年4月	現代社会と社会教育						
兼担	准教授	カノカズオ 菅野 和郎	平成30年4月	博物館資料保存論						
兼担	准教授	クドウワタル 工藤 亘	平成29年4月	健康教育 生涯スポーツ演習						
兼担	准教授	コシマサエコ 小島 佐恵子 (宮崎 佐恵子)	平成29年4月	二年次セミナー201 三年次セミナー302 社会科学7科目ミックス(リーディング) 社会科学7科目ミックス(ライティング)	兼任	講師	ヤチ コエ 矢内 琴江	平成29年4月	社会科学7科目ミックス(リーディング) [全学共通科目] 社会科学7科目ミックス(ライティング) [全学共通科目]	平成29年4月 教育内容の充実を図るため担当者変更(29)
兼担	准教授	ゴットルド、マルコ	平成30年4月	宗教学						
兼担	准教授	コヤマユウイチロウ 小山 雄一郎	平成29年4月	フィールドワークA フィールドワークB フィールドワークC						
兼担	准教授	ササキ ケン 佐々木 謙	平成29年4月	基礎生物学実験					基礎生物学実験	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラスを改編したことに伴う担当者削除(29)
兼担	准教授	サジ リョウヤ 佐治 量哉	平成29年4月	基礎生物学実験						
兼担	准教授	サトリ カズオ 佐藤 一臣	平成29年4月	科学入門※						
兼担	准教授	サトリ ユキ 佐藤 由紀 (小島 由紀)	平成29年4月	コミュニケーション論 心理学						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
兼担	准教授	カバシアイ 高橋 愛 (立花 愛)	平成30年4月	博物館教育論						
兼担	准教授	ババ シンジ 馬場 眞二	平成29年4月	音楽Ⅰ 音楽Ⅱ						
兼担	准教授	ハラ ケンイチ 原野 健一	平成29年4月	生物学入門	兼担	教授	ハラ ケンイチ 原野 健一	平成29年4月		平成29年4月 原野健一(准教授)が教授 に昇格(29)
兼担	准教授	ヒダ ユウシ 飛田 有支	平成31年4月	フィールド実習						
兼担	准教授	マツヤマ イロオ 松山 巖 (安藤 巖)	平成30年4月	学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性 図書館概論 図書館制度・経営論 情報サービス演習B 図書館情報資源概論 情報資源組織論 情報資源組織演習A 情報資源組織演習B						
兼担	准教授	ミズノ カトシ 水野 貴敏	平成29年4月	科学入門※						
兼担	准教授	ミヤタ トオル 宮田 徹	平成29年4月	基礎生物学実験						
兼担	准教授	ムラヤマ 村山 にな	平成29年4月	美術史 博物館概論 博物館実習						
兼担	准教授	ヤマカ ヨシオ 山岡 好夫	平成29年4月	基礎生物学実験 フィールド実習	専	教授	オハシ ケイコ 大橋 敬子 (兼子 敬子)	平成29年4月	基礎生物学実験	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラス を改編したことに伴う担当者 変更(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	准教授	ヤマダ マサシ 山田 雅俊	平成29年4月	経営学						
兼担	助教	イシカワ コウジ 石川 晃士	平成29年4月	農場実習						
兼担	助教	スー, ジェシー	平成29年4月	ELF 101 ELF 102 ELF 201 ELF 202	兼担	助教	ユウジ ヨシノブ ユキヨシ 後藤 由利 ジョディ	平成29年4月	ELF 101 〔全学共通科目〕 ELF 102 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラス を改編したことに伴う担当者 変更(29)
兼担	助教	スズキ シュンヤ 鈴木 淳也	平成29年4月	健康スポーツ理論						
兼担	助教	スズキ ミホ 鈴木 美穂 (増田 美穂)	平成30年4月	名著講読 (人文科学)						
兼担	助教	セキ ヨシカズ 関 義和	平成29年4月	農場実習						
兼担	助教	チャイクル, ラサミ	平成29年4月	ELF 101 ELF 102 ELF 201 ELF 202 ELF 301 ELF 302						
兼担	助教	ホシテツヤ 帆足 哲哉	平成30年4月	二年次セミナー202 三年次セミナー301 名著講読 (社会科学)						
兼担	助教	ムライシンジ 村井 伸二	平成30年4月	野外教育 社会教育の基礎	兼担	准教授	ムライシンジ 村井 伸二	平成29年4月		平成29年4月 村井伸二(助教)が准教授 に昇格(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	助教	ユウジ ヨリホウ ヲエリ 結城 由利 ジョウエイ	平成30年4月	ELF 301 ELF 302 ELF 401 ELF 402					ELF 101 〔全学共通科目〕 ELF 102 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育体制の充実を図りクラス を改編したことに伴う担当者 変更(29)
兼任	講師	アキラ アツシ 有川 淳	平成30年4月	複合領域研究 201～299						
兼任	講師	アリヤマ ムシコ 有山 裕美子	平成30年4月	図書館サービス概論						
兼任	講師	イケダ ユミ 池田 佑美	平成29年4月	化学入門 環境科学 基礎化学実験						
兼任	講師	イシダ ヤスオ 石出 靖雄	平成29年4月	日本語表現 101 日本語学	兼任	講師	コウノ サキ 神野 紗希	平成29年4月	日本語表現 101 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育内容の充実を図るため担 当者変更(29)
兼任	講師	イトウ ショウ 伊藤 恵夫	平成30年4月	複合領域研究 201～299						
兼任	講師	エシタ カズキ 江下 和章	平成29年4月	代数学入門						
兼任	講師	エトウ ケイ 江藤 圭也	平成29年4月	経済学 (国際経済を含む)						
兼任	講師	オカワ カコ 大川 孝子	平成31年4月	学校経営と学校図書館						
兼任	講師	オサキ コウジ 大崎 恒次	平成29年4月	マーケティング						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
兼任	講師	カワマタ ノブユキ 勝又 暢之	平成29年4月	環境教育						
兼任	講師	ガリード, カルロス <small>(ガリード・カルロス・ロドリゲス)</small>	平成29年4月	スペイン語 101 スペイン語 102	兼任	講師	タナベ 田邊 まどか	平成29年4月	スペイン語 101 〔全学共通科目〕 スペイン語 102 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育内容の充実を図るため担 当者変更(29)
兼任	講師	カサキトシハル 川崎 敏治	平成29年4月	統計学入門						
兼任	講師	キタダ シン 岸田 真	平成29年4月	演劇史 演劇理論	兼任	助教	タワシ タリョウ 多和田 真太良 (35才)	平成29年4月	演劇理論 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育内容の充実を図るため担 当者変更(29)
兼任	講師	コノ チュウミツ 呉 仲密	平成29年4月	中国語 101 中国語 102						
兼任	講師	コスマアキオ 小沼 明夫	平成29年4月	歴史 (世界)						
兼任	講師	コハヤシ ハルコ 小林 晴子	平成29年4月	英語学						
兼任	講師	コハヤシ マサユキ 小林 正幸	平成29年4月	社会学						
兼任	講師	サイノウ ハルコ 齊藤 晴子	平成30年4月	博物館展示論						
兼任	講師	サイノウ タスリ 齋藤 泰則	平成30年4月	学校図書館メディアの構成 児童サービス論 情報サービス演習A 図書・図書館史						
兼任	講師	サカモト ヨウコ 阪本 陽子	平成30年4月	社会教育計画 社会教育方法論						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	シズ ヲウ 清水 聡	平成30年4月	国際関係論						
兼任	講師	センスイ ヒデカズ 泉水 英計	平成29年4月	文化人類学						
兼任	講師	タテキ ヲウスケ 立脇 洋介	平成30年4月	人間関係論						
兼任	講師	ツツイ ハルカ 筒井 晴香	平成29年4月	ロジック						
兼任	講師	トミタ コウスケ 富田 幸祐	平成30年4月	スポーツ史						
兼任	講師	ハギ ユミコ 萩 裕美子	平成31年4月	栄養学						
兼任	講師	ハマダ ヒデアキ 濱田 英毅	平成29年4月	人文科学7科目ミックス(リーディング) 人文科学7科目ミックス(ライティング)						
兼任	講師	ヒナタ ヲシカズ 日向 良和	平成30年4月	図書館情報技術論 情報サービス論 図書館情報資源特論 図書館施設論						
兼任	講師	ヒラキヤスカ 平木 康隆	平成30年4月	地球科学 宇宙科学						
兼任	講師	フジタ トモコ 藤田 智子	平成29年4月	マルチメディア表現	兼任	講師	タチノ タカシ 立野 貴之	平成29年4月	マルチメディア表現 〔全学共通科目〕	平成29年4月 教育内容の充実を図るため担当者変更(29)
兼任	講師	マシモト ナオミ 舛本 直文	平成29年4月	オリンピック文化論						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
兼任	講師	マツカガ ミツオ 松永 光雄	平成29年4月	法学						
兼任	講師	ミヤザワ ヨシオミ 宮澤 義臣	平成29年4月	ドイツ語 101 ドイツ語 102						
兼任	講師	ミヤカガ ノブミ 宮永 望	平成29年4月	数学入門 解析学入門						
兼任	講師	ミヨカガ ミチコ 茗荷 美知子	平成29年4月	情報科学入門 データ処理						
兼任	講師	メグロ 目黒 ゆりえ (花川 ゆりえ)	平成29年4月	外国文学 フランス語 101 フランス語 102						
兼任	講師	ヤマグチ 山口 アンナ	平成29年4月	ネットワーク入門						
兼任	講師	ヤマシナ ナホ 山科 直子	平成30年4月	科学史						
兼任	講師	ヨシタケ ミツオ 吉武 光雄	平成29年4月	倫理学						
					兼任	教授	イシイ キョウコ 石井 恭子	平成29年4月	教育インターンシップA 〔全学共通科目〕 教育インターンシップB 〔全学共通科目〕 教育インターンシップC 〔全学共通科目〕 教育インターンシップD 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目(全学共通科目)がキ ラム改編により科目追加(29)
					兼任	教授	オカモト ムツヨシ 岡本 裕一朗	平成30年4月	人工知能と社会 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目(全学共通科目)がキ ラム改編により科目追加(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
					兼担	教授	テルヤ 照屋 さゆり (青木 さゆり)	平成29年4月	STEM入門 (科学と社会) 〔全学共通科目〕 プレゼンテーションスキル 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目 (全学共通科目) がキ ム改編により科目追加 (29)
					兼担	教授	ナカ イ エツコ 永井 悦子	平成29年4月	Japanese Studies Overseas A 〔全学共通科目〕 Japanese Studies Overseas B 〔全学共通科目〕 Japanese Studies Overseas C 〔全学共通科目〕 地域創生プロジェクトA 〔全学共通科目〕 地域創生プロジェクトB 〔全学共通科目〕 地域創生プロジェクトC 〔全学共通科目〕 地域創生プロジェクトD 〔全学共通科目〕 地域創生プロジェクトE 〔全学共通科目〕 地域創生プロジェクトF 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目 (全学共通科目) がキ ム改編により科目追加 (29)
					兼担	教授	ナンバ カツミ 難波 克己	平成29年4月	TAPファシリテーションI 〔全学共通科目〕 TAPファシリテーションII 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目 (全学共通科目) がキ ム改編により科目追加 (29)
					兼担	准教授	アリゲントン 有源 傑ラード	平成29年4月	現代文化論 〔全学共通科目〕	平成29年4月 林卓行兼担教授の退職に伴 い変更 (29)
					兼担	准教授	タナカ モトコ 田中 素子	平成29年4月	日本学入門 〔全学共通科目〕 Japanology 〔全学共通科目〕 Japanese Pop Culture 〔全学共通科目〕 Modern Japanese History 〔全学共通科目〕 East Asian History 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目 (全学共通科目) がキ ム改編により科目追加 (29)
					兼担	准教授	ミヤザキ マユ 宮崎 真由	平成29年4月	市民社会と法 〔全学共通科目〕	平成29年4月 US科目 (全学共通科目) がキ ム改編により科目追加 (29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定 年月	担当授業科目名	
					兼任	准教授	リア, スティーブ	平成30年4月	Issues in Japanese Studies A [全学共通科目] Issues in Japanese Studies B [全学共通科目] Academic Communication [全学共通科目] Presentation Skills in English [全学共通科目]	平成29年4月 US科目(全学共通科目)がキ 7M改編により科目追加(29)
					兼任	助教	タカ シンリョウ 多和田 真太良	平成29年4月	演劇理論 [全学共通科目]	平成29年4月 教育内容の充実を図るため担 当者変更(29)
					兼任	講師	アラ カスヨシ 荒 一能	平成29年4月	民俗学入門 [全学共通科目]	平成29年4月 US科目(全学共通科目)がキ 7M改編により科目追加(29)
					兼任	講師	コノ サキ 神野 紗希	平成29年4月	日本語表現 101 [全学共通科目] 日本語表現 102 [全学共通科目]	平成29年4月 教育内容の充実を図るため担 当者変更(29)
					兼任	講師	タノ タカシ 立野 貴之	平成29年4月	マルチメディア表現 [全学共通科目]	平成29年4月 教育内容の充実を図るため担 当者変更(29)
					兼任	講師	タナベ 田邊 まどか	平成29年4月	比較文化論 [全学共通科目] スペイン語 101 [全学共通科目] スペイン語 102 [全学共通科目]	平成29年4月 教育内容の充実を図るため担 当者変更(29)
					兼任	講師	ヤチ コエ 矢内 琴江	平成29年4月	社会科学7科目'ミックス' (0-1インク) [全学共通科目] 社会科学7科目'ミックス' (ラ行インク) [全学共通科目]	平成29年4月 教育内容の充実を図るため担 当者変更(29)

- (注) ・申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8 名	4 名

(注) ・大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
8	1	0	0	9	8	1	0	0	9	8	1	0	0	9
(8)	(1)	(0)	(0)	(9)						[±0]	[±0]	[±0]	[±0]	[±0]

(注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（A））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （B））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1		該当なし(29)				

合計 (A)			後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|--|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1		該当なし(29)				

合計 (C)			後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|--|

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当事項なし

(注) ・上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項についての実 実施 計画
該当なし				

- (注)
- ・「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
 - ・「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される 全ての報告書に記入してください。
 - ・該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<農学部 先端食農学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>記入例)</p> <p>① 修了要件単位数 124単位 必修科目〇〇単位、選択科目〇〇単位</p> <p>② 施設・設備</p> <p>a 講義室〇室 (〇㎡)</p> <p>b 自習室〇室 (〇㎡)</p> <p>c 図書〇〇冊</p> <p>該当なし</p>	<p>① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対照表」参照)</p> <p>② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。</p>

- (注)
- ・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 - ・設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p><玉川大学FD委員会規程を転載></p> <p>(目的)</p> <p>第1条 玉川大学(以下「本大学」という。)教員の、教育研究活動の向上・能力開発に関して恒常的に検討を行い、その質的充実を図ることを目的として、大学FD(ファカルティ・ディベロップメント)(以下「FD」という。)委員会(以下「本委員会」という。)を置く。</p> <p>(組織)</p> <p>第2条 本委員会は、委員長、委員、事務担当をもって構成する。</p> <p>2 前項の委員長は教学部長とする。</p> <p>3 委員長及び委員等は、毎年度当初、学長がこれを委嘱する。</p> <p>4 委員長が必要と認めたときは副委員長を置くことができる。</p> <p>5 本委員会には学部ごとの部会を設けることができる。</p> <p>6 前項による部会は、各学部ごとに設け、部会のまとめ役及び委員は学部長が選任する。</p> <p>(任期)</p> <p>第3条 委員の任期は1か年とする。ただし、再任を妨げない。</p> <p>(運営)</p> <p>第4条 本委員会は、委員長が召集・開会し、議長となる。</p> <p>2 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の教職員の出席を求め、意見を聴取することができる。</p> <p>(審議事項)</p> <p>第5条 本委員会は、次の事項を審議する。</p> <p>(1) 教育研究活動改善の方策に関する事項</p> <p>(2) 初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関する事項</p> <p>(3) 学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関する事項</p> <p>(4) FDに関する教員への各種コンサルティングに関する事項</p> <p>(5) 教員のFD活動の指針に関する冊子及びFD活動報告書の刊行</p> <p>(6) 部会からの報告・審議に関する事項</p> <p>(7) その他FDに関連する事項</p>
--

(部会)

第6条 各部会は、本委員会に検討・実施事項を報告しなければならない。

(答申)

第7条 委員長は、本委員会の審議結果を学長に答申しなければならない。

(実施事項の決定)

第8条 前条の答申内容の実施については、大学部長会の議を経て学長が決定する。

(実施事項の運用)

第9条 前条により決定した実施事項に関する実際の運用に関しては、教務委員会及び教育研究活動等点検調査委員会との調整を図りながら検討、実施するものとする。

(事務主管)

第10条 本委員会に係る事務主管は、教学部教育学修支援課とする。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

大学FD委員会は年間5回開催した。平成28年度は、4月、6月、9月、11月、3月にそれぞれ開催し、委員長1名、委員11名、事務担当5名が参加し審議した。委員会開催の他、授業改善のための学生による授業評価アンケート（ユニバーシティ・スタンダード科目）、ピア・レビュー（全教職員を対象にした授業参観）、第三者によるシラバス確認、FD研修（新任教員研修会、ティーチング・ポートフォリオ導入に向けた研修会、アクティブ・ラーニングに関する研修会、ルーブリック指標による評価に関する研修会、非常勤教員を対象とした研修）の開催、外部のFD研修への教職員派遣、FDerの養成、FD活動報告書作成・公表などの多岐にわたる活動を大学全体で積極的に推進した。

c 委員会の審議事項等

大学FD委員会においては以下の事項を審議する。

- (1) 教育研究活動改善の方策に関する事項
- (2) 初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関する事項
- (3) 学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関する事項
- (4) FDに関する教員への各種コンサルティングに関する事項
- (5) 教員のFD活動の指針に関する冊子及びFD活動報告書の刊行
- (6) 部会からの報告・審議に関する事項
- (7) その他FDに関連する事項

② 実施状況

a 実施内容

記入例)

- ・ 授業方法について研究会
- ・ 教員相互の授業参観
- ・ 新任教員のための研修会 等

平成29年度開設のため、先端食農学科では農学部長および主任会メンバー、各学科FD委員、FD担当で組織される農学部FD委員会のもと、今後下記の内容を実施する予定である。

- (1) FD研修会
- (2) 学生による授業評価アンケート
- (3) 教員相互の授業参観

b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む）

現時点で、先端食農学科としての実績はまだないが、農学部FD委員会として平成28年度に下記の通り、研修会等を実施した。

(1) FD研修会

農学部内の研修として下記の研修を行った。

- ① ハラスメント防止研修会（講師：本学顧問弁護士）
- ② 心の健康について考える研修会（講師：本学カウンセラー）
- ③ 共通分析機器の使用について（講師：農学部担当教員）

①②については農学部全教員対象に、研究・教育活動の円滑な実施と学生への適切な指導を目的に、③については研究活動のさらなる加速を目的として実施した。

(2) 学生による授業評価アンケート

授業改善を目的に、講義科目と実験・実習科目の受講生30名以上の必修科目を中心に、春・秋の2回実施した。

(3) 教員相互の授業参観

春学期に、前年度の授業評価アンケートで総合評価の高かった授業を対象として実施し、参加者には報告書の提出をお願いした。

先端食農学科として平成29年度についても同様の内容を計画している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

農学部においては実験・実習や研究指導など個別指導の場面が多い。またグループ実験や実習では複数の学生が共同で学修する場面もあり、教員と学生、学生同士など密接にかかわることが多い。その中での接し方、あるいはコミュニケーションの問題など、常に指導法を見直し、機微な変化も早期に対処できるよう、教員相互の意思疎通、情報交換に努めていきたい。

学生アンケートの結果では、講義科目に比べ、実験・実習科目での総合評価が高くなった。身体を動かし体験する授業の学修効果が高いことを示しており、講義科目においても積極的にアクティブ・ラーニングの要素を取り入れ、学生の理解の向上を図るよう努めていきたい。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況、方法等

農学部では授業改善を目的に、講義科目と実験・実習科目の受講生30名以上の必修科目を中心に、春・秋の2回行っている。また新任の教員に対しては選択科目で30名以下でも実施している。

集計結果は各教員に送付し、さらに大学HPにて学部、学科単位での集計結果を公表している。またアンケート自由記述欄を活用するため、原本は各担当者へ返却した。

先端食農学科においても今まで農学部で蓄積された内容を踏襲し、同様のアンケートを行っていく予定である。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

農学部先端職能学科では、食品の安全性や機能性、食品の持つ役割や危険性について理解を深め、既存の農業を超えた新たな食料生産のしくみや食品製造にかかわる専門的な知識と実践的な能力を身に付け、社会で必要とされる食料生産、食品加工の現場で活躍できる人材の養成を目指した教育を、設置計画通り、平成29年4月より実施している。

この人材養成の目的を達成するために、世界の食料生産や食料需給、食品加工や食品製造にかかわる状況を理解し、また、植物工場や陸上養殖など最先端のシステム化された食料生産に関する知識や能力を修得し、さらに、食品の機能性や安全性に関する知識や能力を修得できるように教育課程を編成し、設置計画通り、授業科目を開設している。

また、設置計画の通り、各学期に履修登録できる単位数の上限を原則16単位と定め、単位制度の実質化を図っている。特に時間割において、授業と授業との間に空き時間を設定し予習・復習の時間を確保できるように工夫している。

このように、設置計画通りに平成29年4月より教育活動を展開している。

実際の取組の達成状況は以下の通りである。

1. 教育課程

・教育課程の編成の基本方針・考え方に基づいて、設置計画の通り、授業科目を開設した。ただし、全学共通のユニバーシティ・スタンダード科目群においては、教育の充実を図ることから開設科目の追加、名称変更、配当年次変更を行った。同じく専門科目群においては、開設科目の名称変更を行った。

2. 教員組織

・教員組織の編成の考え方に基づいて、設置計画の通り、専任教員を配置した。

3. 教育方法および履修指導

・英語運用能力向上のための授業の展開、主体的な学生の学びと、充実した授業展開を目指した履修科目登録上限の16単位設定、学習の質を評価するGPA制度の導入、履修ガイダンスの開催など、設置計画通りに実施している。

4. 施設・設備

・教育・研究活動に必要な施設・設備は、設置計画通りに整備した。なお、学生の主体的な学びを促進させるための施設「大学教育棟 2014」は、図書館、講義室、研究室、大学事務室をはじめとする学修支援の機能を集約した複合施設で、ラーニング・コモンズにより学生が主体的に学修できる空間を多く配置している。また隣接して食堂棟を設置している。さらに、国際共通語としての英語の学修をより充実させるための施設「ELF Study Hall 2015」は、少人数クラスやグループ学修に適した教室、学生の主体的な学びを促すアクティブ・ラーニング・ゾーン、セルフ・ラーニング・ゾーン、ラウンジなどを配置している。

5. 学生の受入れ

・計画した入学者選抜方法に基づいて、募集、試験、選抜を行い、定員を充足する学生を受け入れている。

6. 情報の公表

・設置計画の通り、人材養成等教育研究に係る目的、教育課程、海外留学の概要、入学や学習機会に関する情報などを大学案内の冊子やホームページに掲載し、広く周知を図るよう努めている。

② 自己点検・評価報告書

自己点検・評価報告書の内容として、以下の項目に関する点検、評価、改善計画を記載している。その計画をもとに改善を図り、その上で改めて点検、評価を行い、さらなる改善を行うといったPDCAサイクルのもと、毎年、教育研究活動等

点検調査委員会を中心に自己点検・評価活動を行っている。

1. 理念・目的

- ・大学・学部の理念・目的・教育目標の適切性を定期的に検証するとともに、それらを教職員および学生に周知し、広く社会に公表する。

2. 教育研究組織

- ・教育研究組織の適切性について、理念・目的に照らして定期的に検証する。

3. 教員・教員組織

- ・求める教員像および教員組織の編成方針の明確性、教育課程に相応しい教員組織の整備状況、教員の募集・採用・昇格が適切に行われていること等を検証する。また、教員の資質向上を図るための方策の適切性を検証する。

4. 教育内容・方法・成果

- ・教育目標に基づき学位授与方針および教育課程の編成・実施方針を明示し、教職員および学生に周知し、広く社会に公表する。また、教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証する。
- ・教育課程の編成・実施方針に基づき授業科目を適切に開設し教育課程を体系的に編成しているか、また、各課程に相応しい教育内容を提供しているかを検証する。
- ・教育方法および学習指導の適切性、シラバスに基づき授業が展開されているか、成績評価と単位認定の適切性を検証する。また、教育成果について定期的な検証を行い、その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結びつける。
- ・教育目標に沿った成果が上がっているか、また、学位授与（卒業認定）は適切に行われているかを検証する。

5. 学生の受け入れ

- ・学生の受け入れ方針を明示し、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行い、定期的に検証する。
- ・適切な定員を設定し、入学者を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理する。

6. 学生支援

- ・学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるよう学生支援に関する方針を明確に定め、学生への修学支援、生活支援、および進路支援が適切に行われているかを検証する。

7. 教育研究等環境

- ・教育研究等環境の整備に関する方針を明確に定め、十分な校地・校舎および施設・設備を整備し、図書館、学術情報サービスが十分に機能しているかを検証する。
- ・教育研究等を支援する環境や条件が適切に整備されているかを検証する。
- ・研究倫理を遵守するために必要な措置がとられているかを検証する。

8. 社会連携・社会貢献

- ・社会との連携・協力に関する方針を定め、教育研究の成果を適切に社会へ還元しているかを検証する。

9. 管理運営・財務

- ・大学の理念・目的の実現に向けて、管理運営方針を明確に定め、明文化された規程に基づき管理運営が行われているかを検証する。
- ・大学業務を支援する事務組織が設置され、十分に機能しているか、また、事務職員の意欲・資質の向上を図るための方策を講じているかを検証する。
- ・教育研究を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立し、予算編成及び予算執行を適切に行っているかを検証する。

10. 内部質保証

- ・大学の諸活動について点検・評価を行い、その結果を公表することで社会に対する説明責任を果たしているか、また、内部質保証に関するシステムを整備し適切に機能させているかを検証する。

a 公表（予定）時期

記入例)

- ・平成28年5月1日 公表

- ・平成18年3月に「2005自己点検・評価報告書」を、平成23年4月に「2010自己点検・評価報告書」を作成し、本学ホームページに掲載し公表した。

b 公表方法

記入例)

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成28年8月末を予定）

- ・「2010自己点検・評価報告書」の刊行及び本学ホームページにより公表した。

③ 認証評価を受ける計画

記入例)

- ・平成28年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

- ・平成23年度に認証評価機関（公益財団法人大学基準協会）の認証評価を受け、平成24年3月に適合と認定されている。次回の認証評価は平成30年度に受審する計画である。

- ・また、大学院教育学研究科教職専攻（専門職学位課程）は平成27年度に認証評価機関（一般財団法人教員養成評価機構）の教職大学院認証評価を受け、平成22年度に続き、2期目の適格認定を受けた。次回の認証評価は平成32年度に受審する計画である。

（注） ・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(昨年までの報告書は既に公表しているが、今回の報告書については平成29年6月30日に公表予定。)